

帯広美術館活用ガイド

帯広美術館では、学校教育でご利用いただける様々な取り組みを行っています。ぜひご活用ください。

美術館で！

展覧会の団体観覧

学校の教育活動として、小・中・高校及び特別支援学校等の団体が観覧される場合は、観覧料が無料となります。

▶詳しくは裏面をご覧ください

職場体験学習

キャリア教育支援のため、児童生徒の職場体験を受け入れています。ご要望に応じて内容を構成します。

[申込]随時 [日程]1～2日間

[人数]各日5名程度

[体験]受付、作品監視、バックヤード等施設見学、学芸員との交流、資料整理、展覧会観覧など



収蔵庫

指導者研修

美術館を活用した学習の充実や、学校と美術館との連携を図るため、教員向け研修を開催しています。

[日程]7～8月頃、12～1月頃 各回半日程度

[人数]各回10名

[募集方法]Plant(全国教員研修プラットフォーム)

研修会の支援

教員研修会の会場として、当館講堂を無料で利用できます。展覧会鑑賞もあわせてどうぞ！

[講堂]広さ98㎡(約80席対応可)

*料金免除のため、簡単な手続きが必要です

学校でも！

帯広美術館オンラインアート教室

Zoomを使って美術館と教室をつなぎ、学芸員が鑑賞の授業をします。

[時間]45分程度

[申込]随時(2ヶ月前までにご相談ください)

※このほか、教育庁生涯学習推進局文化財・博物館課による「道立美術館等オンラインアート教室」もあります。そちらは新年度に学校へ届く通知をご確認ください。

鑑賞学習支援ツールの貸出

授業で使える鑑賞ツールを貸し出します。

(貸出無料、送料別途)

・アートカード

道立美術館・芸術館の所蔵品64点をはがき大のカードにした教材です。

・《道産子追憶之巻》複製シート・卷子

日本画家・岩橋英遠による、北海道の四季を描いた作品の縮小複製画です。全長29mの作品を、2/3のスケールにした32枚組のシートと、1/2のサイズにした卷子があります。



アートカード



《道産子追憶之巻》複製シート



◀使い方など、詳しくはこちら

<https://artmuseum.pref.hokkaido.lg.jp/obj/guide/tools/>

各事業のお申込み、
ご相談はこちらまで

北海道立帯広美術館

TEL 0155-22-6963
oibi.11@pref.hokkaido.lg.jp

展覧会の団体観覧について

こんな場合にご利用いただけます

- 美術や図工など、各科目の授業として
- 部活動として(美術部以外でも、もちろんOK!)
- 遠足における雨天時のイベントとして
- 修学旅行や児童会館の宿泊学習にあわせて

事前～当日の流れ

【1. 下見】

引率者の方が下見を希望される場合は、展示を無料でご覧いただけます。受付にてお申し出ください。

【2. 大型バスの駐車】



帯広百年記念館前の公園駐車場をご利用ください。(無料)

【3. 受付での手続き】

当日、受付カウンターで申込用紙に学校名、観覧人数等を記入してください。事前にお申し込みいただくと、手続きがスムーズです。

【入場制限】

展示室の混雑状況によっては、2班ほどに分かれ、時間差で入場いただく場合があります。(コレクション・ギャラリーから鑑賞するグループと、特別展から鑑賞するグループに分かれるなど)。

【撮影】

展示室内で児童生徒が観覧している様子を撮影することが可能です。ただし、フラッシュ機能をOFFにし、周りのお客様の写り込みにご配慮ください。

【模写】

鉛筆でのスケッチは可能です。ご来館前にご連絡ください。バインダーもご用意できます。



モデルコース

□自由に鑑賞コース

展覧会の鑑賞
(30分～)

・滞在時間が短い場合などにおすすめ



□見どころ紹介コース

オリエンテーション
(約15分)

展覧会の鑑賞
(30分～)

展覧会を見る前に、美術館の紹介や展示の見所をお話しします(予約制)

[時間]15～20分

[会場]当館講堂(約80席)



・Zoomによる来館前のオリエンテーションも可能です

作品鑑賞用のクイズシートもあります(バインダー、鉛筆付き)。あわせてご活用ください。